

中川村議会だより第117号アンケート結果

1. 今号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

- 集合写真でひとりひとりの顔が見られるのは良いが、植樹をしているところもあると、より楽しそうなイメージがうかぶのではないかと思う。
- 文字が多く読むのがつかりました。ところどころ写真やイラスト、手書き文字等をメリハリよく入れて読み手が受け入れやすい内容になると良いなあと思います。（議会だよりなのでかたくなるのは仕方ないかと思いますが、大切なことがたくさん書かれているからこそさまざまな世代に読んでもらいたいです。）
- 学校給食センターの改修工事に関してですが、今回の改修工事がどんな背景で発生したのか、どんな問題が生じているのか、なぜ業者や関係職員が処分されるのか等、詳細は議会だよりや村の広報にもまったく掲載されておらず、一般村民は詳細を知りません。さらに夏休み明けの9日間が給食停止になることで保護者は大きな負担となり、多くの村民が憤慨しています。議会だよりの賛成討論を読んでも疑問は深まるばかりです。村民目線の記事を作成してください。
- 一般質問のページは相変わらず写真を多用して紙面を埋めている印象を受けます。特に11ページは4枚もの写真で紙面の半分近くの面積を占めていますが、文字に起こすよりも楽な手法で手抜きに感じます。写真は小さめのサイズで1ページに1枚程度にしたらいかがでしょうか。この点、2011年当時の議会だよりの紙面のほうが良かったと思います。
- 最後のページの視察研修報告の執筆者はおそらく鈴木議員なのかと思うのですが、最後に（鈴木）とあるだけなのではっきりしません。きちんと上のほうに明記してください。
- 編集後記が「住民の皆さんは…知っていますか」という書き出しで始まっていますが、一般村民はそんなランキングがあることは知る由もありません。それはあなた方が議員をやっているからたまたま知るところとなっただけです。
- 議会だよりでは中川村議会が10位にランクインしたことの詳細理由はまだわからないと言いながら、一方、別冊ではその要因を詳細に述べています。発行元が同じものなのに矛盾しているように思います。
- 議会だより別冊の最終ページの文体が、「ですます体」と「である体」とが混在していて読みにくいです。また、「早稲田大学マニフェスト研究会」ではなくて「…研究所」の誤りですよね。
- 同じく別冊の写真の説明タイトル文字をすべて枠で囲んであるのですが、どういう意図があるのでしょうか。あまり見かけない手法ですが、何か効果をもたらしているようにも思えません。
- 議会だよりモニターの意見の全文はホームページに載せているというので再三アクセスしてみるのですが、何度見てもいまだに（8月3日現在）載せられてい

ません。なぜなのでしょう。このことに10人の議員の誰も気づかないのでしょうか。議員の方は誰も議会のホームページなど見ないのでしょうか。それとも何か事情があって掲載していないのでしょうか。

また、ついでながら申し上げますが、ホームページに議会だよりのモニター募集の件がまだ掲載されていますが、期限を過ぎたものは削除されたほうがよろしいのではないのでしょうか

- <表紙>イナノギクの植樹：東西小学校で行われたが、多分6年生が総合学習か何かで取り組んだと思うが、表紙の写真の説明書きが欲しい。(例えば、裏表紙に「表紙の写真は…」といった感じで)
- 2頁の改修工事の件、よく判らない。村当局の再発防止に向けての取り組みと懲罰委員会の中身が見えない。職員の服務規律の問題があるのか。
- 請願・陳情の審議について、辺野古新基地建設の問題は、普天間基地問題との関係を、時系列で説明あるいは解説をする必要がある。単純に普天間から辺野古へ基地が移設になることではないと思う。もう少し突っ込んだ議論が欲しい。
- 表紙の子供たちの笑顔に癒されましたが、イナノギクの植樹についての内容が広報の中に載ってなくて残念でした。
- 元気な子供たちの写真でとても良いなと思いました。
- まず表紙ですが、レイアウトがごちゃごちゃしているな、もっとシンプルにまとめたら良い感じになるのにと思います。
- タイトルの文字を載せる位置や写真とのバランス、その辺がほんのちょっと工夫したら、もっとわかりやすく表紙っぽいイメージになると思います。
- 請願・陳情審議の欄で「みなし不採択されました」とありますが、不採択とみなした根拠についての説明などが全然無いのでその辺りを示して欲しいです。
- 前回初めてとっていいくらい「議会だよりの」をじっくり読む機会を与えられ、読みなれない冊子に抵抗感もありましたが、紙面の雰囲気慣れたのか、あるいはモニターからの意見を反映して下さったのか、前回よりスムーズに読むことができたように思います。
- 一般質問をされる議員さんの着眼点にも、共感できる方と、そうでない方もいらっしゃって、今後の村会議員選挙でも、考え方や政策で人を選ぶことができると感じました。ぜひ、もっと多くの村民の皆さんに読んでいただける「議会だよりの」作りを目指して、今後も工夫をしていただきたいと思います。
- モニターの意見も載せていただきましたが、地区と性別くらいは追記してもいいかと思います。
- 西、東の両小学校でイナノギクの植樹が行われた時の写真が表紙になっていますが、自分がイナノギクについて知らないだけなのかもしれませんがイナノギクについての説明などがあればいいのかなと思います。表紙の写真は子供の写真がいいですね。今後も子供さん中心で表紙を飾ってってください。
- 前号のモニターには様々な意見があったようですが、私自身は今号の表紙も良い

と思います。広報と一緒に配られる便りですので、あまり表紙が似てしまうと紛らわしいかもしれませんが、まずは手に取り中身を見てもらうような表紙が良いと思います。

○4P 令和元年6月議会定例会議審議状況

各議員の皆さんの賛否が一覧で分かりやすい構成だと思いました。

○一般質問に関して、これまで議員一人一人の質問・応答形式ですが試しに各質問の内容別に編集された形で見てみたいと思いました。防災関連、村政関連、観光、子育てなど各質問と答えがバラバラに書かれているのでジャンル別に整理する事で村・村長の考え方、方針がより分かりやすくなるのではと思いました。

○議会だよりモニターの意見等を2ページにわたって掲載してありますが、本モニターの目的は「より良い議会だよりおよび議会活動」だと思うので、毎号にわたってモニターの意見を載せる必要はないと考えます。毎号掲載が続くと村民の方々から「議会だよりの紙面を埋めるためのモニター意見」との誤解を招く可能性があります。それでは本末転倒です。私は私の意見や要望が上記目的に少しでもお役に立てれば十分です。

○まず表紙写真は議員も関わる村の活動の内容が写真になっていて、前回よりもより「議会だより」にふさわしい写真になったと思います。

○請願・陳情審議について、賛成・反対双方の主張された内容が明記されていたため、議員お一人おひとりの考えがよくわかりました。

○一般質問の各見出しについてもわかりやすく興味を引きつける内容だったように思います。

○表紙以外の写真についてはかなり苦しい印象です。ビジュアルイメージが難しい場合には、関連する内容の一般的なデータなどを掲載するのも良いかと思いました。(たとえば、「調査のチカラ <https://chosa.itmedia.co.jp/>」など、無料で引用可能な調査のデータベースがあるので、活用するのも良いと思います。

○文字もさほど小さくなく、行間もゆとりがあるのですがなぜか紙面がみづらい印象です。たとえば、ユニバーサルフォントの導入を考えてもよいかもしれません。

○表紙写真は、二枚のバランスが取れて良かった。議会との繋がりが現れた表紙ですから。写真に写っている議員のキャプションがあったら尚よい。

○レイアウトは相変わらず読みにくい。議員の写真を更新してはいかがでしょうか？駒ヶ根の議会便りは編集、写真共にある程度の上質が保たれている。中川村議会だよりはその辺で損をしている。ページ6.9.15の写真の質が残念。

○表紙 イナギクの植樹は、とてもいい活動だと思います。整列の写真ではなく、植樹風景などが良いと思う。

○補正予算への桂川議員の意見 どうして改修工事の増額になってしまったのか、いつ、どこで、なにがあったのかの問題が記載されておらずこの意見がいいのか、わるいのか、さっぱりわからない。トップのページならもっと工夫してください。

○議員の日誌 過ぎた日程ではなく、これからどんな事をしていくのかの予定が知

りたい。行事名だけではなく、何をするか全部ではないが、住民に分かるようにしてほしい。

- 議員のページ 見出し、小見出しが長い。発言の中の文章をもって来るのではなく、簡単な文で要約した、見出しにしては？（松澤議員のページが読みやすい）字ばかりの議員ページは、読んでもなにを言っているのか残らない。一般質問の全部の質問を書くのではなく、一番時間をかけた質問について、報告してはどうか。ページの統一がなく読みづらい。
- 毎年、毎号確認している訳ではありませんが、子どもの写真が多いような気がします。可愛らしくて良いのですが、村内で働いている若者やお年寄りの写真を使っても良いと思います。
- 村民と議会との懇談会を別冊にまとめているのは、読みやすく良かった。全体的に分からない専門用語等も無く、読みやすかった。
- 表紙について、毎回未来ある子供達の写真を載せており若い子育て世代に興味を持ってもらうのがねらいのように感じられます。が、ただ、活動している動きのある写真ではなく、整列して記念撮影しているだけでは興味も半減してしまいます。写真に映っている人物の中に議員さんが1名いるような、議員としての参加だったのか植樹団体の方の参加なのか疑問に感じます。この写真はひとつ間違えは、選挙運動のひとつととらえられることも考えてほしいです。
- 元気な子供たちの写真でとても良いと思いました。
- 表紙の写真、子供たちの顔がよく見えよかった。イナノギクの植樹がどういった経緯で行われたものなのか、少し説明のようなものが内部にあるといいかなと思う。
- 補正予算の内訳がわかりやすかった。地域おこし事業のおためし協力隊体験プログラムとはどんなものなのか興味をそそられました。予算が執行された後こんな風になりましたという写真等が今後誌面に載ると良いかなあと思う。
- 一番最初の記事について、“再発防止”や“懲罰委員会”という言葉がいきなり出てきたという感じを強く受けた。私が中川村で起きている事を知らないだけなのかも知れないが、どう問題なのかが全くわからずとても違和感がある。
- 表紙 東西小学校の何年生なのか、解るとうれしい。
- 表紙に小学生達がたくさん写っていて、読者の関心を引くだらうなと思いました。
- 定例会の報告・質問等は見やすかったです。写真や図などが入っていて分かりやすかったです。
- 辺野古への基地移転の問題は、ちょうど半分に議会が割れています。私ももう一度、辺野古について勉強しなくてはと思いました。遠く離れていますが、自分の事として考えなくては。
- モニターからの意見の所は、文字がいっぱいで見にくいと思いました。もう少し行間を空けたり、レイアウトを工夫して頂けるといいかな。
- 議会での報告(予算、一般質問など)は毎号の記載されている部分なのでパット見

たとき「フーン・・・」という意感じだが、議会だよりモニター開始は「オッ！」と思いました。

○別冊議会だより いろいろな人の意見が読めてよかったです。

○請願・陳情審議で辺野古の内容で約1ページ掲載されていました。3件の請願と5件の陳情のなかで、この話が一番盛り上がったかあ～なんて思いながら読みました。

2. 議会だよりに載せて欲しい情報は

○保育園、学校行事の内容と子どもたちの様子 “さくらんぼ”の活動と子どもたちの様子(嫌がる方もいるかな?) “すこやか”の活動と子どもたちの様子

○現在、村で取り組んでいる事業について、特集記事で載せても良いと思う。

(例えば、総合計画策定作業の進捗状況及び今後の日程、チャオ周辺の整備計画等)

○消費税10%移行後、村内ではどのような変化が予想されるのか。

○各議員様の人物紹介というか、簡単なプロフィールでも良いので載せていただきたいです。なんとなく顔は知っているけど、どんなかたなのかよく知らない人物が多くおられますので。インタビュー形式も良いかもしれません。

○一般質問で「検討していきたい」と答えられたものが、その後どうなったか、大いに知りたいところです。

○民泊利用状況の推移や今後の展開について

議会だよりというよりは村報や観光協会の情報になるのかもしれませんが、民泊の実際の様子を知りたいと思いました。

先日、家族旅行で北海道に行った際、中国、韓国、欧米などたくさんの外国人観光客を目にしました。また首都圏や名古屋など都会でもたくさんの外国人観光客が来ているようです。

国内でも有数の観光地である北海道や大都市と比べる意味はあまりないのですが、伊那谷ではそもそも外国人観光客自体を目にする事がまれだと思います。その中で中国修学旅行生を受け入れる民泊の取り組みは今後につながる良い取り組みだと思います。

○議会や委員会でポイントとなった問題について、詳細な情報を可能な範囲で掲載いただきたいと思います。今回で言えば「学校給食センター運営事業」の補正予算対応です。桂川議員の賛成討論記事によりこの問題の概要はわかりました。望むらくは議会全体の対応がわかる記事を載せていただけると良かったと思います。

○議員諸氏が村会議員になられた動機(含む自己紹介)を各号1名ずつ掲載されたいかがでしょう。これにより、各議員がより身近に感ぜられますし、議員のなり手不足対策の一つになると考えます。

○小学校中学年以上くらいの子どものと議会のことについて話し合えるようなコーナーがあるとよいかもしれません。授業でも使えるような内容が理想かと思いま

す。

- 前回と同様に、議員の日常的な仕事ぶり、生活などを具体的に面白く書いて欲しい。
- 昨年 8 月から議員になって 1 年を振り返っての、議員さん達の感想を聞きたい。
(1 年間で出来た事、できなかったことなど)
- 議員さんの普通の議員活動についても、もっと知りたい。
- 各委員会活動及び研修会等の報告を、村民にわかりやすく報告してほしい。一般質問も大切ですが、委員会活動も大切だと思います。
- 議員の方々がどんな方たちか、自己紹介のコーナーみたいなのを作れないでしょうか？文面だけ見ていると、人柄が見えてこないのです・・・。
- 議員さんの人柄がわかりやすく伝わる記事
- 議員さんの紹介的なものはどうでしょうか。最近ハマっているモノ、コトなどなど、ホッと息抜きできる記事もあったら楽しい。

3. 議会・村に対する要望、意見等

- 一般質問についての村長の「やっていきたい」「努力する」「検討する」「必要があるかと思う」という回答の終わり方が気になります。どうやっていくのか、どう努力するのか、どう検討してくれるのか。村民が気になるのは具体的な話であると思います。できるならできる、できないならできない、今後できそうならいつくらいなのか、良い質問ばかりだったのもっと具体的に考えて動いていただけたらと思います。
- この欄に対して疑問があります。私がお引き受けしたのはあくまでも「議会だより」のモニターです。したがって、議会だよりを読んで、それに対する意見や感想をお伝えするのがモニターの役目だと認識しています。したがって議会や村に対する要望や意見をこの書面をもって具申するつもりはありません。村への意見や要望は「村長への手紙」があります。議会への要望や意見をここで受け付けた後、どのような形でいつまでに誰が回答するのか、きちんとしたものがあるのでしょうか。
- リニア新幹線建設について、年度の切り替わり時期に進捗状況と今年度の予定を確認する場を設けるよう JR に申し入れるように。
- 議会として、関連する道路工事、環境対策等村に提言して良いのではないかと。(例えば、北林飯島線の拡幅工事について、建設業協会からも要望が出ていたが)
- 渡場地区には、JR から毎月環境指標の実績が回覧されているが、特に、騒音は基準値に近いときがあり、今後注意深く監視をしていく必要があると考える。
- つくっチャオの改修計画は進んでいるのか。もう少しエントランス部に工夫が欲しい。今の状態では、知らない人は何の施設かもわからないと思う。
- 今年で 28 回を迎えた中川どんちゃんまつりは毎年大変な盛り上がりですが、多くの人々の力とお金が使われ音楽花火で村外からのお客様を楽しませる行事にな

っている感じがここ数年します。30周年を迎えるにあたり、神輿の担ぎ手不足や多くの係員への負担等どんちゃん祭りを見直す必要があると思います。

- 夏休み明けの給食センターの工事期間中、子供たちはお弁当持参で登校になるようですが暑い時期なのでいろいろと気をつかいます。一番暑く食べ物も傷みやすい時期に何故工事をするのか疑問です。
- 今前号の一般質問にもありますが、高齢化と人口問題を非常に心配しております。若者が働く場所がないということで他所の職場に行かざるを得ないというのはどこの地方も抱えている問題かもしれません。だからと言って企業を誘致したり、Iターン移住者を呼び寄せるという考えも本気で取り組むつもりなら、まず私たちのような移住者を集めて意見交換会などを開いて実際にどんな問題や可能性があるのかをリサーチしないと話が進まないのではないかと思います。移住者受け入れについて、自分が一番問題だと感じているのは、地区ごとの加入金や地区費が同じ村内でも信じられないくらいに格差があり、行政の人たちもそれをさほど問題視していないように感じられることです。都会から来た人間にとっては驚愕の事実です。自治権という考えで自主独立をとという意見もある程度理解できますが、それを認めるならば加入金や地区費の実態をもっと公にして移転する企業や移住者などにはっきりと提示すべきだと思います。知人が若者住宅に住む時に加入金を徴収され、数年後自宅を建設してその地区を出た時は返納されなかったと聞きます。地区財産を住人で共有しているから地区加入金を取るという考えなら、出て行く人にはその分を返納すべきだと思います。
- 地区内に、ソーラーパネルの設置、土砂の埋め立てなど、地権者がOKを出したからと言って、いよいよになってからようやく地区内に説明会が開かれる場合があります。ハザードマップ作りでも、地区の住民でしか分からない過去の災害履歴がある場合もありますし、決定したはいいものの、実は危険な場所だった、ということも、ないとは限りません。村民ならではの感情かも知れませんが、「なんとなく勝手に話が進んだ」という時点で、ほぼ「反対のスタンス」から説明会に臨むことになります。
- 若い人が働ける企業誘致も大切だと思いますが、定年を越えた高齢者が、簡単に働けて稼ぐことができる施設建設の検討もお願いしたいと思います。
- 中川村で生活していて何も気にせずいましたが、数年前に村外の友との会話で中川村へ移住して来ている人ってかわった人が多いよねと言われた事がありました。今年、中田島の山の上の方より、太鼓を激しく叩く音や、マイクを使ってウォーなどと叫ぶ男性の声などを聞いて別の友人は、中川は静かなイメージの村だったけど、変わったし、なんだか気持ち悪いと言われた時はショックでした。聞いた話し、移住して来た方たちの集まりみたいで・・・
- 今回配布された「議会だより別冊」を一読すると、「少子化・人口減少及び産業振興」に関する意見が大変多いことに気づきます。それだけこの問題について中川村の課題が山積しているということでしょう。

6月議会でのこの問題について一般質問された議員は中塚議員と松村議員です。住民懇談会の声を村の行政側に届けようとされている姿勢に敬意を表します。

質問に対する回答を読むと宮下村長の回答は皮相的であり、この問題についてもっと掘り下げた検討を期待するところです。

- 上記の問題にも言えますが、村側の回答は「検討する」というものが多く見受けられます。議員諸氏におかれましては、村長・教育長・担当課長が「検討する」と回答した問題について、その後の議会でその取り組み状況を必ずチェックいただきたいと思います。一般質問で二の矢・三の矢を放っていただきたいのです。それによって議員が取り上げた問題について行政側の取組姿勢が変わってくると思うのです。問題解決に至る施策に深みが増すと思うのです。
- 別冊の議会だよりにもあったように、JA 上伊那の支所の廃止は大きな問題であると考えます。が、現実問題としてATMの廃止もあった場合、高遠のあたりでは移動型のATMが導入されていると聞きましたので、ぜひ検討されたく思います。
- 超高齢社会の突入に向け、「安心して免許を返納できる村づくり」が理想の一つと考えています。遠くにいかなくても充実した暮らし、というのも考え方と思いますし、外に出たいと思ったときにも安心して出られるバスや乗り合い自動車のような新しいシステムの導入があれば、ひいては観光客にも役立つと感じます。観光客にとっても、車がないと不便な村なので、観光客も安心して公共交通機関で訪れられる村になれば、活性化につながると考えます。ぜひご検討お願いします。
- 村の人口減少が取り上げられているが、具体的な危機感が湧かない。村税収減は想像できるが、幾ら減るのか、国からの補助金の変化の見込みと照らし合わせた予想出来る数字を知りたい。そして何が危機となるのか、具体的なダメージ予想を分野別に聞きたい。議会だよりはアンケートを全て載せたのはいいが、そこまでは誰でも出来る事。複数項目を取り上げたフィードバックは毎回必要。
- 別冊、村民との議会との懇談会の内容ですが、「企業を誘致すべき」との声が多いことに驚きました。何か施設を建てれば、何か企業を誘致すれば改善する。ではなく、今あるものを上手に使って更に良いものを、アイデアを創り出す方向にベクトルが向くと他の村からも差別化ができ良いのでは？もともと豊かな自然があり、その事を魅力に思う人たち、中川村の環境を生かす方向で活性化が進むと良いと思う。まだ中川村に引っ越して間もないのでよく分かっていませんが、役場だけで懇親会をするのではなく、各地域ごとに会を開き、様々な世代の村民ともっと話しをして、沢山のアイデアを集めて良い村作りを進めて欲しいです。異業種交流会のような会もあるので、業界に拘らず、中川村全体としてアイデアを共有できれば良いと思う。村民一人一人が村の事をもっと先の世代まで見据えて、持続可能な村作りを考えていかなければならないと思う。
- 今回、別冊議会だよりが入っており、各所で出された質問・意見等があったと思

- います。出していただいただけの状態にしておくのではなく、懇談会を行ったという熱が冷めないうちに解答をいただければと思います。
- 夏休み明けの給食センターの工事期間中、子供たちはお弁当持参で登校になるようですが、暑い時期なのでいろいろと気を使います。一番暑く食べ物も傷みやすい時期に何故工事をするのか疑問です。
 - 今現在、村にどのような補助事業があるのか、どんな種類の補助金があるかといった事を知らずに過ごしている人が多いのではないかと思います。広く村民に知らせる手段・方法を考えてもらえるとありがたい。
 - 障がい者地域活動センターの設立、農福連携、とても良いと思うので実現に向けて頑張ってください。中川村の基幹産業である農業を活用し、障がいのある方々が活躍できる場を作ることに、村の人々が手を差しのべ合っていることを望みます。併せて、園芸療法福祉なども取り入れてみるといいのではないかと思います。
 - ため池が中川村には、いくつあるのか知りたい。
 - 通学路での危険個所を各校 PTA から要望をあげても全く変わらないのはどうしてか？
 - 議員の方に要望した事が、すぐに議題にされているのは、小さい村の良さだなと思います。中川村の特産品づくりの事や企業誘致の議題が出ていましたが、今の時代はオーガニックの農産物に力を入れるべきだと思います。世の中全体が空前のオーガニックブームになっていて、中川村は一步出遅れていますが、宮崎県の綾町や埼玉県の小川町など、若者が興味があるのは有機農業だと思います。これは村長や村の農家さんや色んな人に言っても誰も興味を示してくれないのが残念です。

4. その他

- 村の将来等を考える話し合いやワークショップの開催時間について、ママたちが参加しやすいようにママ、パパだけの対象日、時間等をたくじ付でやってくれると村の未来を考えた熱い意見がたくさんでると思います。バンビーニのママたちといつも子どもたちの未来について、村の未来について話しています。話しやすい空間でみんなの中川村について考えていきたいです。
- 本日（8月15日）の信濃毎日新聞に小谷村の「観光再生事業の白紙化」の記事が載っています。記事を読むと村側の迷走を招いた原因の一つには村議会のチェックの甘さがあるように思います。これを他山の石として、中川村議会におかれては行政側のチェックに尚一層努めていただくと同時に、議決した施策に対して責任ある行動に心がけていただくことを期待します。
- 南田島の荒廃地の除草、管理をされている松村議員を見かけました。毎年草だらけだった土地が今年はきれいです。
- 子育て世代が議員になりづらい環境をどうにかして変えていただきたい。報酬額の検討か、あるいは議会の時間の検討か・・・多様な世代が参加できる議会が健

全な姿かと思えます

- 2.にも書いたように、議員の仕事内容、仕事条件、給与等をオープンにして欲しい。実情がみえないので、成り手が居ないのは当然の結果。議員の積極的で日常的なアウトプットが必要不可欠だと感じる。
- 議員さんのなり手不足はとても問題だと思います。活動内容がわかりにくい、時間制約がとてもあり、なかなか働く若者にはとてもなれる状況ではないと考えます。
- 議会改革という点で、これからの村議会に今までとまた違う風を吹き込むという意味でも、選挙が行われるくらいに立候補者が現れるよう、議員の仕事や報酬等を魅力あるものに変えていくべきでしょう。特に、子育て世代の議員さんが誕生するといいいかなと思うが、そのためには様々なサポートが必要となってきますね。
- 若い人が気軽に「議員になりたい！」と言える環境でないと思います。議員は定年してからじゃないとできないんじゃないでしょうか？ 若い人で話しても「自分は絶対に嫌だ」とみんな言います。もう少し開けた、明るい雰囲気のある議会になれば、女性が入りやすかったりするのかなと思います。
- 村内の多くの諸先輩方は村会議員の政治的立ち位置のバランスを気にする意見を多く聞きますが、年齢的・性別的なバランスも個人的に気になります。